

# 地域生活支援センターとすたあと 令和2年度 事業報告書

## 《令和2年度の経過と評価》

すたあとの特徴として、居宅介護援・日中一時支援・短期入所と三つの事業を行っている為、重度の障害を持つ利用者や、ご家族のニーズに合わせた細やかな支援を心掛けてきた。

今年度は新型コロナウイルス感染症の対策として、法人内で対策会議を行ない、利用者、支援員の命を守ることを最優先とすることを確認した。その結果、短期入所、移動支援、行動援護などが大きな影響を受けて事業を縮小し、減収となった。事業の縮小に伴い、ご家族にも丁寧に説明し理解してもらえるように努めた。

具体的な対策として短期入所では三密を避け、定期的な消毒・換気・マスクの着用などを行った。移動支援・行動援護は長時間の外出、三密を避けて近隣の散歩を設定する等、様々な制約のある中で利用者が安定した生活を送ることができるように対応した。

居宅介護については、ヘルパーが訪問時に体調確認・検温・マスク着用・消毒等を行った上で支援を行った。いずれも、利用者、支援員共に感染のリスクが高いため不安を抱えながらの支援であり安心とニーズのバランスに苦慮した。

人材育成においては、今年度テストランではあるが人事評価制度を法人で取り入れた。支援員一人一人の目標を明確にし、得意を生かして前向きに取り組めるように助言をした。月1回のヘルパー会議では、活発な意見が少なかったため、会議前にアイスブレイクなどを行って緊張をほぐし意見の言いやすい環境を整えた。また、外部研修の減少に伴い15分研修動画（サポカレ）を視聴する機会を設け支援力の向上に努めた。

## 《重点課題に対する取り組み》

### 【運営基盤・体制の強化】

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため短期入所・移動支援・行動援護等の利用が激減してしまい安定的な運営が出来なかった。来年度は感染予防を継続し安全安心をモットーとしながらも、出来ることを増やし安定した事業運営を行う。得意な支援を生かせるよう業務の調整や安心して支援できるように支援員に対して丁寧な聞き取り、説明を行ない事業所全体でモチベーションをあげる事ができた。しかし、事業の縮小に伴い支援員の減収も見られたため、次年度は、業務可能時間などの聞き取り、調整をさらに行いたい。短期入所の実績記録に支援計画を盛り込み日々の支援の際にポイントを理解しやすくなるよう実施した。年度途中に1名の支援員を採用したことで支援体制が整いつつある。情報共有・チームワークも深まってきた。業務分担については、不明確な部分が多く、一部の支援員に負担が偏ってしまった。安定した事業を行える様に業務の明確化を図り適切な業務分担を行えるように整えることが課題。

### 【居宅介護事業】

今年度は、緊急性の高い利用の問い合わせが多かった。ニーズの増加に伴い通常では支援員の調整が困難と思われたが、新型コロナウイルス感染症対策で他の事業を縮小していた事もあり対応することが出来た。生活に不可欠な通院介助においては、新型コロナウイルス感染予防のため、極力福祉有償運送の利用をお願いした。待合での密を避ける工夫等、利用者へ丁寧に説明しながら感染対策を行った。

### 【短期入所事業・日中一時事業】

緊急時・週末の利用について、ご家族・相談員の方からの問い合わせが増加した。新型コロナウイルス感染症対策として、少人数での利用とし一人一人の状況、ご家族の希望に合わせた受け入れを行った。短期入所の利用日数減の対策として新規希望者の受け入れの実施をしたが、身体・知的と障害特性も様々な為、新規受け入れに対し躊躇してしまうことも多かった。今後は、各々支援員の得意とする分野の調整や安心して支援できる環境作りが重要となる。利用されるご家族にコロナ対策を十分に説明し、安心安全な事業所であることを理解していただいた。

### 【移動支援事業・行動援護事業】

移動支援・行動援護については長時間の不要不急の外出は避けていただいた。利用者が今までであった利用がなくなって不安定にならないよう希望者に短時間の散歩等で対応した。新型コロナウイルスの対応について法人内で作成した基準に沿ってご家族に説明し理解していただいた。

### 【地域活動】

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたマザーズサロンなどの地域活動は自粛となった。法人設立20周年記念イベントも縮小となったが近隣の方・介護施設・地元の大学には20周年記念誌の配布を行なうことができた。

### 【環境整備】

事業所周辺の環境美化 避難経路の確保、植栽の管理、危険物の除去、駐車場、公用車、ウッドデッキの管理などを行なった。建物の老朽化に伴う補修費の負担範囲について大家さんと、すり合わせを行なった。来年度も、引き続き安心安全が確保されるように環境整備を行う。

### 【防災計画・安全管理】

今年度は、土砂災害時の避難計画を作成した。また防災委員会で作成した緊急カードを更新し利用者・支援員の情報を法人全体で周知を行なった。年度末には防災訓練として利用者と実際に避難場所まで徒歩で避難し課題点など支援者間で情報共有するなど有事に備えた対策を行なうことが出来た。また、安全面を意識し、極力支援員を複数配置できるような体制を整えた。

### 【人材育成・支援力の向上・職員研修】

人材育成型の人事評価を行ったことで支援員各々が目標を明確にできた事は全体のモチベーションアップに繋がった。今年度については事業所外の研修が困難なため、ヘルパー会議時にサポカレを活用し支援力の向上に努めた。

その他、ヘルパー会議内において下記内容を実施した。

1. コロナウイルスを含む感染症対策について、法人の看護師を招いての勉強会。
2. 理念の意味と役割について
3. 支援者のマナー強化について
4. 災害から利用者、支援員の命を守ることにについて
5. 個々の利用者の課題と支援の成功体験などを発表し情報共有
6. 個別支援計画についての討論
7. 野沢ゼミに中堅職員研修がリモート参加し視野を拓げた。(月1回6か月間)

### 【苦情解決・権利擁護・虐待防止】

権利擁護委員会主導のもと、満足度調査を実施おこなったが、分析、活用については不十分な面が見られた。ヘルパー会議の際、セルフチェック表を活用し支援について確認を行ない、不適切支援の防止に努めた。

利用実績（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（1）指定居宅介護等事業

①居宅介護	—	男：14名	女：22名	【計：36名】	} 【合計：43名】
②行動援護	—	男：4名	女：3名	【計：7名】	
③重度訪問介護	—	男：0名	女：0名	【計：0名】	
④移動支援	—	男：11名	女：6名	【計：17名】	

（移動支援事業）

ヘルパー利用：指定居宅介護等事業（行動援護を含む）、指定移動支援事業

月		居宅介護 身体介護	居宅介護 家事援助	居宅介護 通院介助	行動援護	移動支援 身体あり	移動支援 身体なし	合計
4月	実績人数	12名	10名	7名	4名	8名	3名	44名
	実績時間	101h	40h	15h	11h	24h	5h	196h
5月	実績人数	13名	11名	6名	2名	7名	1名	40名
	実績時間	97h	35h	12h	7h	22h	4h	177h
6月	実績人数	13名	9名	9名	3名	10名	2名	46名
	実績時間	119h	37h	21h	4.5h	30h	5h	216.5h
7月	実績人数	14名	9名	7名	2名	6名	3名	41名
	実績時間	120h	35h	29h	3.5h	21h	6h	219.h
8月	実績人数	13名	10名	7名	3名	10名	1名	44名
	実績時間	101h	31h	28h	3.5h	30h	2h	171h
9月	実績人数	14名	9名	8名	2名	8名	2名	43名
	実績時間	104h	39h	28h	3h	33h	5h	212h
10月	実績人数	15名	9名	8名	5名	9名	3名	49名
	実績時間	116h	41h	19h	18h	32h	8h	234h
11月	実績人数	15名	10名	8名	4名	9名	3名	49名
	実績時間	112h	42h	15h	13.5h	28h	7h	217.5h
12月	実績人数	14名	8名	10名	2名	8名	4名	46名
	実績時間	107h	31h	24h	4h	29h	11h	206h
1月	実績人数	12名	7名	8名	2名	10名	2名	41名
	実績時間	109h	30h	21h	5h	31h	6h	202h
2月	実績人数	12名	11名	5名	2名	9名	2名	41名
	実績時間	97h	57h	13h	6h	29h	14h	216h
3月	実績人数	14名	10名	9名	2名	9名	0名	44名
	実績時間	127h	49h	27h	4.5h	40h	0h	247.5h
合計	実績人数	161名	113名	92名	33名	103名	26名	
	実績時間	1310h	467h	252h	83.5h	349h	73h	
月平均	実績人数	13.4名	9.4名	7.6名	2.75名	8.5名	2.1名	
	実績時間	109.1h	38.9h	21h	6.9h	29h	6h	

(2) 指定短期入所事業

男：28名 女：21名 【計：49名】

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	障害児
人数	0	3	5	11	11	14	5

月	実績人数 (延べ人数)	宿泊 (日数)	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	障害 児	平均人数 (1日)
4月	29名 (74)	16日	0	2名	2名	8名	3名	9名	5名	4.9名
5月	19名 (59)	14日	0	1名	1名	6名	2名	6名	3名	4.2名
6月	26名 (75)	16日	0	1名	1名	6名	5名	10名	3名	4.6名
7月	29名 (81)	17日	0	1名	2名	6名	5名	12名	3名	4.7名
8月	28名 (65)	13日	0	0名	5名	7名	4名	9名	3名	5名
9月	30名 (70)	15日	0	1名	1名	7名	6名	12名	3名	4.6名
10月	31名 (74)	16日	0	1名	3名	7名	6名	11名	3名	4.6名
11月	29名 (64)	15日	0	1名	2名	7名	6名	10名	3名	4.2名
12月	29名 (56)	12日	0	1名	2名	6名	7名	9名	4名	4.6名
1月	22名 (42)	13日	0	0名	1名	5名	5名	8名	3名	3.2名
2月	24名 (50)	14日	0	1名	1名	5名	5名	9名	3名	3.5名
3月	29名 (68)	13日	0	1名	3名	5名	6名	10名	4名	5.2名
合計	325名 (778)	174日	0	11名	24名	75名	60名	115名	40名	
月平均	27名	14.5 日	0	0.9名	2名	6.25名	5名	9.5名	3.3名	4.4名

実績人数・宿泊日数

※実績人数は利用実人数

(3) 指定日中一時支援事業（地域生活支援事業）

男： 6名 女：4名 【 計： 10名 】

月	実績 人数	延べ 人数	利用 日数	身体介護 伴わない	身体介護 伴う	重心	平均人数 (1日)
4月	4名	10名	8日	0	5名	5名	1.3名
5月	4名	12名	9日	0	5名	7名	1.3名
6月	5名	17名	11日	0	8名	9名	1.5名
7月	6名	11名	8日	0	7名	4名	1.4名
8月	7名	13名	9日	0	8名	5名	1.4名
9月	4名	13名	9日	0	5名	8名	1.4名
10月	5名	11名	11日	0	4名	7名	1.0名
11月	4名	10名	8日	0	4名	6名	1.3名
12月	6名	13名	8日	0	7名	6名	1.6名
1月	5名	16名	10日	0	9名	7名	1.6名
2月	6名	15名	10日	0	10名	5名	1.5名
3月	6名	19名	13日	0	12名	7名	1.5名
合計	62名	160名	114日	0	84名	76名	16.8名
月平均	5.2名	13.3名	9.5日	0	7.0名	6.3名	1.4名

※実績人数は利用実人数

(4) 福祉有償運送事業

男：14名 女：12名 【 計：26名 】

月	移送	
	実人数	回数
4月	10名	19回
5月	8名	13回
6月	10名	18回
7月	11名	21回
8月	9名	19回
9月	10名	15回
10月	12名	14回
11月	9名	15回
12月	12名	18回
1月	9名	26回
2月	9名	19回
3月	10名	18回
合計	119名	215回
月平均	9.9名	17.9回

